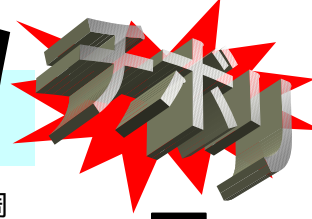


# これ以上税金をつかうな!



## 小山ひろみちニュース

日本共産党倉敷市議団

倉敷市田ノ上794  
Tel ; 421-1032  
Fax ; 421-1024  
Mail;perosan@mx1.kct.ne.jp

### これまで700億円近い税金投入

これまでチボリに対して、岡山県が周辺整備を含め450億円、倉敷市が出資・融資、周辺整備で225億円、合わせて700億円近い税金投入が行われてきました。さらに、「チボリを起爆剤に」1000億円規模の大型事業、倉敷駅周辺開発(鉄道高架、区画整理

など)が進められています。岡山県も倉敷市も、財政がひっばくし、こうした大型事業への財政支出が、地方自治体の本来の仕事である、住民の安全・福祉・教育の予算を圧迫しています。

### 破綻続く第三セクター

チボリを経営するチボリ・ジャパン社は、

入園者数・消費単価の激減で、累積赤字が78億円に上ります。1000円を稼ぐのに115円の経費が掛かる状況で経営は成り立っていません。不思議なことに出資企業から配当がないことへの不満が出ていません。クラブウは7.2億円の地代(固定資産税・都市計画税推定1.3億円を差し引いても莫大な儲け)を得、他の出資企業も建設事業、関連事



入園者数が激減したチボリ(倉敷市民無料期間の2月16日撮影)

## 古市市長表明

### 倉敷市は税金投入しない

業や出店で儲けたから、としか考えられませんが、チボリなど官民出資企業(第三セクター)は全国で経営破綻し、総務省も「法的整理を含む抜本的な対応」を求めています。チボリに反対する県民の会、チボリはいらない倉敷市民の会、チボリ訴訟弁護団は「清算型の法的整理」を提案しています。

二月定例市議会で、自由民主党ラフ秋山正議員、日本共産党小山博通議員の代表質問に古市健三市長は「これ以上税金投入しない」という私のスタンスは変わらない」と明言しました。

チボリよりくらし・福祉・教育を  
最高裁も「遊園地経営は自治体の仕事ではない」と明快に判断を下しています。今こそ、「チボリより、くらし・福祉・教育の予算を」求める県民・市民運動を大きく広げていきましょう。

### 県の不公平なアンケートに抗議 市議会全会派で県へ申し入れ

三月七日岡山県が発送した県民アンケートは、倉敷市の負担を求める方向へ誘導するもので公平さに欠ける、として三月十七日市議会全会派の代表が県に出向いて抗議文を渡しました。

アンケートでは 県の補助は打ち切り、チボリ・ジャパン社が倉敷市の支援を受けて自再建。 県の公園として民間委託し、倉敷市から相応の支援を受ける。 民間譲渡、引受け手がなければ閉園。のいずれかを選ばせるものですが「岡山県としては およびを基本とする」と添え書きして、 及び への誘導が行われています。

### これ以上の負担に道理無し

さらには 及び を選んだ人に、 県が中心となるべき 地元の受益は大きく、市民の憩いの場となっているので、県に加え、倉敷市も相応の支援や支出をすべき、むしろ県よりも地元の倉敷市が中心となるべき、その他「のいずれかを選べ、として「地元だから」と倉敷市の負担へ誘導する、作為的で公平さを欠くアンケートとなっています。

そもそもチボリは岡山市制百周年記念事業で誘致する計画でした。岡山市に拒否され、県が「倉敷市には財政負担を求めない」約束で倉敷市に誘致させたものです。さらに阪急電鉄から中核企業参画を拒否され、県が倉敷市に百億円の出資・融資を押し付けてきました。  
「チボリの経済波及効果」(一九九八年度)として建設時876億円、新たな消費で312億円との数字が出されていますが、その後の数字は出されていません。地域経済への貢献度が不明なのに、地元だからと言って倉敷市がこれ以上の財政負担を押し付けられる道理はありません。